

2022(令和4)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2022年5月21日(土) 1回目：13時～14時 2回目：15時～16時 定員各6名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 各回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 7人（内訳：当事者 1名、家族 5名、専門職 1名）

2回目 3人（内訳：当事者 1名、家族2名、専門職 0名）

フンドウー代表：1名スタッフ配置 1回目のみ参加

4. 当日の様子

先月時間を元に戻す方向となりました。1回目に初めての参加される方が2名居て、自助グループ“フンドウー”の活動を紹介。代表の西銘さんも主席していて、明日畑の草刈り作業を計画しているとの報告があり、新しく参加の家族も参加する約束となりました（現在はコロナ禍の為、友人の力を借りて畑の維持をしています）。石が好きな当事者に石の魅力についてプレゼンテーションを前以て依頼。5種類の石を持参し、それについて説明をして頂きました。通常の会話では言葉が出にくくなる傾向がありますが、好きな事を語る時はスラスラ言葉が出て表情が生き生きしていました。普天間宮の中に鍾乳洞がある事を教えて頂き、皆で一緒に行くのはどうか？との提案が出ました。

5. 所感

近況報告をしながら、初めて参加される家族の悩みに介護経験のある家族が支援の選択をどう決断したのか？それぞれの立場でお話しして頂く…周りの色々な考え方を聞いて、悩みのある方の気持ちの整理に繋がる…ピアカウンセリングはとても大切だなと、毎回感じながらお話を聞いております。お土産は男性ケアマネージャー作製のチョコケーキです♪



以上